

大分県

丸山生活改善センター運営委員会

限界集落の小さな挑戦 田んぼでSUP体験

水面に浮かぶ「巨大なハート」
竹田市で菜の花アート

大分県竹田市久住町白丹の田んぼに、菜の花アートがお目見えした。矢に伸ばされた巨大なハートが水面に浮かんでいる。暑熱強いにあり、通行車両が止まり、記念撮影するなど楽しんでいる。週末と祝日には水上スポーツのSUPを無料で体験できる。

通称が渡り地域を盛り上げようと、丸山自治会（池田文雄会長、15世帯）が約30アールの田んぼに種をまいて仕上げた。総面積約30メートル。

菜の花アートは2017年から毎年この時期に開催し、5回目。水を張るのは3回目で、種は田んぼに黄と黄色い花のコントラストが映える。

SUPの体験は久住公民館の足立達雄館長（58）が提案し、今年から始めた。市内新入町の市立日るG海洋センターが道具を貸し出している。足立館長は「久住に来て、田んぼで水上スポーツをする意外性を楽しんでほしい」と呼び掛ける。

18日には家族連れなど5人が参加。水深は約1.5センチで、花の畑を多岐持ちよびそとに楽しんだ。

大分市中戸次の下下太田さん（13）＝戸次中2年＝は「パドルでこぐのは大変だったけど、面白い」と笑顔で話した。

花は週末まで楽しめそう。SUPの体験は5月3日までの土、日、祝日。時間は午前10時～午後3時。

問い合わせは久住公民館（0974・71・0717）。



大分合同新聞netニュース



子ども達の体験の様子

親子でSUP 1歳の女の子も

取組概要

- 公民館が老朽化し、大規模な改修が必要になったことをきっかけに、地域外との交流ができる「学生のスポーツ合宿施設」としての活用することとし、簡易宿所許可を取得した。
- 冬場は3反の田んぼにLED照明を使った光のファンタジー、春は菜の花アートで集落を盛り上げている。
- 田んぼの水張り期間を活用し水上スポーツ「SUP」体験を実施。地元小学校向けのほか一般体験も実施。

活動成果

- SUPの一般向け体験は5日間であったが、市内・市外・県外から1歳から73歳までの幅広い年齢層の延べ120名が参加。地元新聞にも大きく取り上げられた。
- コロナの影響による合宿誘致の困難や耕作放棄地の増加の中、休耕田を活用したSUP体験を半年間できるようにプログラムの構築を検討している。

深見地区まちづくり協議会

共に願い、共に描く 活気溢れる住みよい深見



コロナ終息祈願のどんと焼き

コロナ退散祈願打上花火



晩秋のグルメウォーキング

仙の岩イルミネーション

取組概要

- 集落機能の低下、PTA・老人クラブ等の活動も低迷する中、各団体が相互に協力して問題解決に取り組むため、H21年に当協議会を設立。
- 初めての試みとして晩秋のグルメウォーキングを実施。また、コロナ退散祈願として打上花火やどんと焼きを実施。
- 仙の岩イルミネーションによる冬の観光スポット化。深見地区のドローン撮影や安心院神楽を動画撮影しユーチューブで配信。

活動成果

- グルメウォーキングでは高校生の和太鼓、安心院神楽の演舞、直売ブースの出店等により地域内外から300名の参加する大規模イベントとなった。
- コロナ禍の中で新たな活動に取り組むことで、地域の魅力を広く地域内外に発信することや地域交流の促進等につなげることができた。

安心院地区まちづくり協議会

みんなで築こう！心安らぎ輝くまち 安心院



各地域団体連携による「花いっぱい活動」



取組概要

- 安心院地区全住民を会員とし、3つの専門部会で構成。R2年度には協議会設立10周年を迎え次の「10年活動計画」を策定。
- コロナ禍の対応として地域活動への参画意識の向上や住民とのコミュニケーション促進を目的に「まちづくりカード」の発行やLINE公式アカウントを開設。
- 上記2つを活用し高齢者サロンの支援、地域住民による一斉清掃活動、花いっぱい活動などの取組を実施。

活動成果

- 「10年活動計画」では全世帯へのアンケートや大学、地元高校とも連携し策定し、製本した計画書は全世帯へ配布。
- 「まちづくりカード」では地域活動への参加によりポイントを付与することで参加率が向上。LINEでは協議会からの情報発信や広く住民の声の収集など成果が見られている。
- 「みんなで築こう！心安らぎ輝くまち安心院」のビジョンに向け高齢者のお困り事の支援のほか各種活動に取り組む。

横山地区まちづくり協議会

いろは川 稲積山に 小倉池 古き文化の 香る郷 横山



トレッキングコース:展望デッキと小学生



トレッキングコース:資材運搬終了時



18mのそびえ立つどんど焼き

取組概要

- 横山地区全住民(約千人)を構成員としみんなで助け合い支え合う一体的なまちづくりなどを目指しH29年4月に協議会を設立。
- 地域の文化財や自然景観を多くの人に知ってもらうことや体力づくり、健康増進のためのトレッキングコースを整備。コースには展望所、案内板、駐車場等を整備。
- 小学校児童への体験活動やどんど焼きなどの伝統承継の活動も実施。

活動成果

- トレッキングコースは各種新聞やSNS等での情報発信を実施。コースは登山愛好家だけでなく歴史に関心のある人や小学校の児童等も楽しめるコースとなり県内外から訪れるスポットとなっている。
- コースを整備することで地域内のコミュニケーションをとる場の一つになり地域の魅力を改めて再確認することにつながった。
- 手すり等の整備が終わるころに横山の歴史講演会やトレッキング大会を開催することとしている。

横山地区まちづくり協議会

大分県宇佐市大字木内446番地の1

<https://yokoyama-kyogikai.jimdofree.com/>

Tel : 0978-58-3040 Fax : 同左